



ことりのピピ

～小さな勇気のものがたり～



森に小さなことりのピピがいました。

ピピは歌うことが大好き。



でも、みんなの前だと声が出ません。  
のどがキュッとなって、歌えなくなるのです。

ピ

「どうして僕だけ歌えないんだろう...」

ピピは泣きました。

ピ  
梶

「おや、どうしたんじゃ？」

年老いたふくろうじいさんがやってきました。

アヒルの子は、

梶

「お前さんは、勇気を眠らせているだけじゃ。  
最初の一音だけ出してごらん」



次の朝、ピピは深呼吸しました。

「最初の一音だけ...」

「ヒ...」

小さな、小さな声。

でも確かに声が出ました！



「聞こえたよ！もっと聞かせて！」

この物語から：

完璧じゃなくていい。

小さな一歩が、すべてを変える。

おしまい

ピ

モ

梶

今日のあなたの「最初の一音」は？